

おんべ鯛とフグの島(篠島)のことが全てわかる!!

篠



島

SHINOJIMA GUIDE

歴史 海の幸 絶景 遊ぶ

篠島観光協会公式ガイド

歴史

歴史の島、篠島
名所旧跡も見応えあり!

帝井 (みかどのい)



南北朝時代に篠島に滞在された後村上天皇が鳥を散策の際、この場所を廻る指示をされたという井戸。

島弘法 (しまこうぼう)



城山の北側から島をぐるりと囲んで弘法様が並んでいます。あなたはいくつの弘法様に会えるかな?

神明神社 (しんめいじんじや)



20年毎の伊勢式年遷宮のときに内宮の東宝殿、西宝殿が下賜されてきました。1200年以上島民を護ってきた由緒ある神社です。

おんべ鯛奉納祭り (おんべたいほうのうまつり)



年3回つくれる干鯛(おんべ鯛)を伊勢神宮へ奉納する行事。伊勢神宮から賜った「太一御用」のぼりを掲げて伊勢神宮へ出陣する。

清正の枕石 (きよまさのまくらいし)



名古屋城築城の際、石の切り出しのため来島した加藤清正が運び残した巨石が今も残っています。

八王子社 (やおおじや)



鎌倉時代中期より造船と海上安全の神として信仰を集めています。

山頭火碑 (さんとうかひ)



流浪の俳人、種田山頭火が美浜町や南知多町の俳友を訪ねた時に詠んだ句。

大名行列 (だいみょうぎょうれつ)



1月3日の夜、御神体を八王子社から神明神社へ迎えます。4日、再び神體が八王子社へ帰る道中をお守りする行列です。

海の幸

活気あふれる日本有数の漁場。
そんな島の息吹を感じてください!

加工団地



日本一の生産量を誇る「しらす」の加工工場をはじめ、篠島の漁業の中心部です。しらすの加工風景や市場の雰囲気は、まさに篠島のもの。

魚市場



活気あふれる市場の風景はさすが。漁協のビルや倉庫が建ち並び、漁業の盛んな島の様子が一目で実感できます。

篠島漁港



様々な漁船が係留されています。狙う魚によって装備が変わるのでチェックしてみてください!



漁船のポンプ場。愛知用水の水を受けています。

造船所が並んでいます。

港にある公園。目の前には漁船が並んでいます。

家々を見渡す展望台があります。

漁業組合

診療所

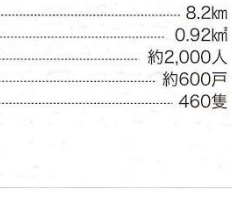
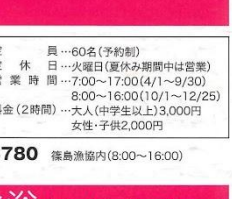
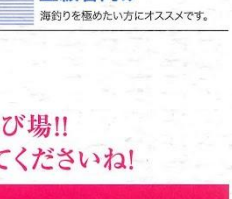
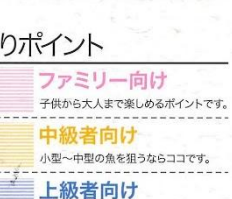
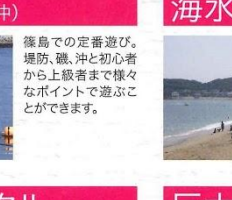
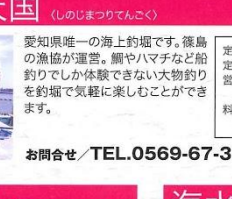
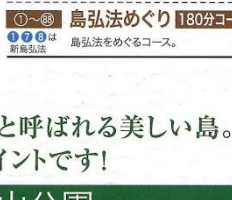
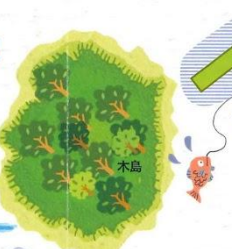
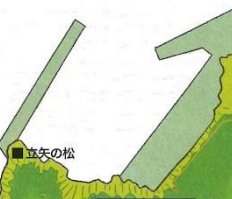
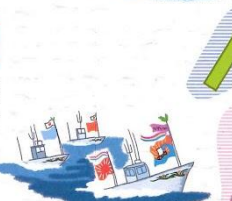
郵便局

神戶通商

小学校

水神宮

厄除け馬頭観音



鳥の駅 SHINOJIMA

新しくオープンした島の玄関。定期船の切符売場、お土産コーナー、軽食コーナー、観光案内所が併設された複合施設。お土産にここでしか販売していない「しらすラスク」はいかが?

観光協会案内所 (月曜定休)
tel.0559-67-3700

釣りポイント

ファミリー向け
子供から大人まで楽しめるポイントです。

中級者向け
小型~中型の魚を釣るならココです。

上級者向け
海釣りを極めたい方にオススメです。

遊ぶ 島全体が全部遊び場!!

篠島釣り天国

愛知県唯一の海上釣堀です。篠島の漁協が運営。鯛やハマチなど船釣りを体験できない大物釣りを釣堀で気軽に楽しむことができます。

定休日: 日...火曜(夏休み期間中は営業)
営業時間: 7:00~17:00(4/1~9/30)
8:00~16:00(10/1~12/25)
料金(2時間): ...大人(中学生以上)3,000円
...女性・子供2,000円

お問合せ/TEL.0569-67-3780 篠島漁協内(8:00~16:00)

釣り (堤防・磯・沖)

篠島での定番遊び。堤防、磯、沖と初心者から上級者まで様々なポイントで遊ぶことができます。

海水浴 (サンサンビーチ)

愛称は「サンサンビーチ」。夏は多くの海水浴客で賑わいます。島では「ないば」と呼ばれています。

レンタサイクル

起伏にとんだ篠島をぐるっと巡るなら自転車が一番。でも、あまり入り込んだ場所へ行くと、行き止まりや階段があるので注意してください。

巨大迷路

島の中心部は、家々が軒を連ねて建っています。その間を道が通り、迷路になっています。道に迷ったら島のの人に尋ねてください。

数値で見る 篠島

外周	8.2km
面積	0.92km ²
人口	約2,000人
世帯数	約600戸
漁船数	460隻

絶景 「東海の松島」と呼ばれる美しい島。自慢の絶景ポイントです!

松島の夕日 (まつしまのゆうひ)

歌碑公園から見る松島にかかる夕日は「日本夕日百選」にも選ばれています。海の青さも映え、白砂と松が絶妙な景観をつくりだしています。

北山公園 (きたやまこうえん)

行き交う船からも展望がきき、春には桜が満開に。会津八一碑もあり、島の新名所として訪れる人も増えています。

歌碑公園 (かひこうえん)

万葉集にも篠島のことか歌に載っています。その歌碑・句碑が万葉の丘に建てられています。

太一岬 キラキラ展望台 (たいいちみさききらきらてんぼうだい)

島の最南端にある公園。鳥居の先は、伊勢神宮を望んでいて、以前あった「伊勢神宮の遷座所」が御遷宮とともに復活しました。

ハイキングコース案内

- 初級 40分コース
島の中心部をめぐると手軽コース。
- 中級 80分コース
帝井などの名所旧跡をめぐるとコース。
- 上級 120分コース
万葉の丘から絶景が楽しめるコース。
- ①~⑧ 島弘法めぐり 180分コース
新築弘法 島弘法をめぐるとコース。

篠島の矢穴石

名古屋城築城時、石に篠島の石が大量に使用されました。島内には「清正の枕石」といわれる大きな石をはじめ、クサビ跡のある石が数多く残っています。

野島は無人島ですが、野島神社があります。

小島ながら標高が50.5mで篠島よりも高く、灯台があります。

篠島グルメ旅

SHINOJIMA GUIDE

三河湾と伊勢湾の潮流が交わり合う場所に位置する篠島。海の恵み豊かなこの島では漁業が盛んで多くの魚介類が水揚げされます。篠島ならではの風習と旬の味覚をお楽しみください。



しらす

食べ頃…4～12月

日本一の漁獲量

篠島でもっとも盛んなのが「しらす漁」。夜半過ぎ漁船群が出航する様子は、港全体が星間のように明るくなり圧巻。生で食べても、釜揚げにしても新鮮さが違います。食べ方により、いろいろな味が楽しめます。



しらす天



渡り蟹 (わたりがに)

食べ頃…通年

南知多で蟹と言ったら「渡り蟹」身の詰まり、カニみそをたっぷりと濃厚な味わいを楽しむことができる最高の逸品です。

穴子 (あなご)

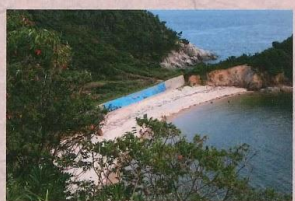
食べ頃…4～11月

人気急上昇、篠島の新名物。身がしゃかりとし、程よい脂のつた穴子は今、篠島一番の注目料理。

篠島ってこんなところ?!

くじはま 鯨浜の名前の由来

昔、捕鯨を行っていた時代に、獲ってきた鯨を解体する場所だったことから「鯨浜」と呼ばれるようになりまし。このあたりに鯨がいたなんて、ちょっとスコイでしょ!



あしたは 明日葉の島

島に自生する漢方薬の材料でも知られた草。伊豆の八丈島が有名ですが、篠島では料理の材料やお土産としても売っています。また、最近の研究では抗癌作用があるとされています。



漁師さんは 天気予報士!

釣果を左右する天気。いるるな方では明日の天気を予想します。風の向き、雲の気圧計などなど。篠島らしいものでいえば、前浜の波の音を聞き分けたり、伊良湖の見え方だったり、先人の知恵ですね。



味噌天国、篠島

漁師島の篠島では、船の上で食べられる保存食として、昔から味噌が重宝されてきました。その名残が今でもあり、島の人はみんな「味噌」が大好きです。宿ごとに名物の味噌料理があり、島の各家庭でもニシ汁、わかめ味噌、タマゴ味噌、小女子味噌など各家庭のこだわり味があるので聞いてみるのも面白いかも!?

若芽 (わかめ)

食べ頃…2～4月

厳しい冬の海で育った島の名産品。

河豚 (ふぐ)

食べ頃…10～3月

下関に勝るとも劣らない天然とらふぐ

知多半島のとらふぐ料理をささえる篠島。天然とらふぐの水揚げが日本一になることも珍しくありません。漁師さんが厳しい冬の海で獲った「とらふぐ」をお召し上がりください。



鱧 (はも)

食べ頃…6～9月

篠島の新名物

特に梅雨を過ぎる頃から誰かの薦めで食べてみるのがおすすめです。その上品な味わいは夏の訪れを告げてくれます。

アオリイカ

食べ頃…5～9月

知る人ぞ知るアオリイカのメッカ

島中どこでも釣ることができるアオリイカ。新鮮さを証明する透き通った刺身は、旨かつたえもあり、天然の甘みを楽しむことができます。



伊勢海老 (いせえび)

食べ頃…通年

新鮮な伊勢海老は、やっぱり王様です。一年を通じて新鮮な伊勢海老が食べられるのも篠島の魅力の一つ。他にも蛸(シヤコ)、赤車海老、車海老などの海老が楽しめます。

海苔 (のり)

食べ頃…11～3月

島の名物の一つ。特に11月中旬の「新海苔」は、香り、味、食感ともに抜群。

地魚 (じざかな)

食べ頃…通年



わかるかな? 篠島の方言

- 朋輩 (ほづばい) …友達、若い人のこと
- いを…魚
- かまい…とらふぐ
- だちん…タメ
- おくらば…得意の漁場
- けなしい…うらやましい
- じまめ…落花生
- ちゃん…じゃんけん

例文
篠島(舟) 朋輩がけっこい嫁さんもらったらしい。ほんにけなしい
(訳) 親友が、きれいな奥さんと結婚が決まったらしい。本当にうらやましい

「陽の道」「月の道」

海に太陽の光がのび、その先に月の光もひびける珍しい光景が一年を通じて数回、篠島で見ることが出来ます。太陽→自分→月が一直線になる神秘的な感覚です。

島のイケメン軍団

篠島はカッコいい男の人が多いです。漁師さんが大半を占めているので、日焼けしている、黒い髪が多いけど、笑った時の笑顔が最高!

漁師さんもびっくり!

篠島は猫が多い島です。いつも美味しい魚を食べています。エサを探して漁船に迷い込んだ猫を連れて出航してしまうこともホラ…。ホントに猫の手も借りたいとはこのこと!?

漁師のおまじない

篠島の漁師さんは、海に網を投げ入れるとき、「ついや!」と叫びます。語源ははっきりしないのですが、今でも使われています。魚がたくさん獲れるように、願掛けの一種かな!?



鯛 (たい)

食べ頃…通年

甘みが違う篠島の鯛

御祭鯛 (おんべだい) として伊勢神宮に奉納されるほど美味しい篠島の真鯛。身がしまっていて、食べる時甘さが口の中に広がります。刺身でも塩焼きでもそのま



貝類 (かいりい)

食べ頃…通年

アサリ・アワビ・サザエ・若ガキ・ミル貝・タイラ貝などが、篠島のまわりの礁で獲れます。

幻の魚、ジンメガレイ

滅多にお目にかかれぬ魚で日本では東北の三陸沖で見られるカレイ。ガラガラとした肌触りをしていて身は厚く、味は絶品。



年間行事

篠島では一年を通して様々な催しを、島をあげて行っています。

1月 3・4日 ◆祭礼(大名行列)

7月 上旬 ◆海開き
◆花火大会(祇園祭)
◆野島祭り(船頭パレード)

8月 13～16日 ◆盆踊り

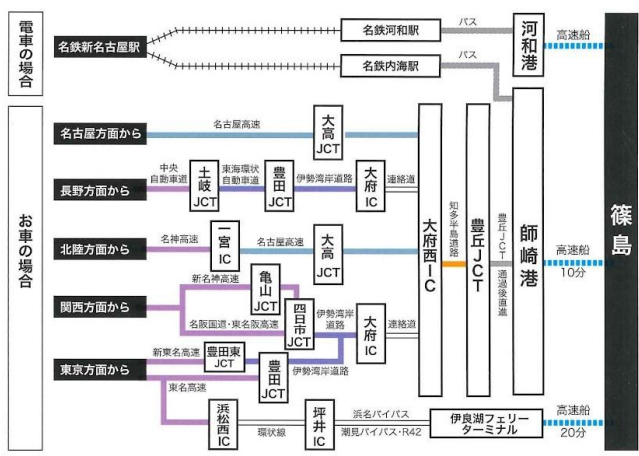
10月 1日 ◆ふぐ延縄漁解禁
12日 ◆おんべ鯛の奉納

夏休み期間中
魚とタコの
つかみ取り
大会



(野島祭り)大漁旗を掲げた漁船団が勇壮に海の上を走ります

秋の気配が色濃くなると、いよいよふぐ漁解禁だ。餌・量ともに日本トップクラスのとらふぐをお楽しみください。



篠島観光協会 〒470-3505 愛知県知多郡南知多町篠島
TEL/FAX 0569-67-3700
ホームページ http://www.shinojima-aichi.com
eメール info@shinojima-aichi.com

memo